

被災者支援コーディネーション基礎研修 in 富山

開催要綱

1. 目的

近年、これまでにない想定を超える災害が頻発するようになり、災害への備えがますます重要となっており、行政、企業、NPO など、様々な関係者との連携は不可欠です。特に行政・社会福祉協議会・NPO 等の三者が協働して被災支援にあたる流れは、近年着実に進展しており、被災都道府県における多様な主体による連携とその実効性の向上の推進が欠かせません。

富山県でも、今年度、富山型災害中間支援組織の体制構築が進められています。こうした状況を踏まえて、本研修では、調整役を担うコーディネーター、被災者支援を行う NPO、行政や社会福祉協議会(以下、社協)とともに、災害支援における連携を深めていくことを目指して、ともに被災者支援コーディネーション(調整)についての理解を深めることを目的に開催します。

2. 主催

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)

富山県県民生活課

特定非営利活動法人富山県民ボランティア総合支援センター

特定非営利活動法人まちづくりスポットとやま

3. 日時

2026 年 1 月 30 日(金)10:00～17:00(予定) ※9:30～受付開始

4. 会場

富山県防災危機管理センター3 階 研修室(富山県富山市新総曲輪 1 番 7 号)

5. 参加対象

被災者支援に取り組む NPO、行政、社会福祉協議会など、災害支援に関わる関係者

6. 参加費

無料

7. プログラム(詳細は変更となる可能性があります)

10:00-12:30	<p>趣旨説明 自己紹介</p> <p><u>講義1:支援コーディネーション(調整)とは何か</u></p> <ul style="list-style-type: none">・コーディネーションの定義。目指すもの・コーディネーションの機能について・グループ演習:機能について <p><u>講義2:災害中間支援組織とコーディネーターの役割</u></p>
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害中間支援組織について ・行政・社協・災害中間支援組織等の多様な主体間連携 <p><u>講義 3:被災者支援コーディネーションの具体的な活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集、情報共有、情報発信 ・支援団体のサポート ・分野ごとの支援調整 <ul style="list-style-type: none"> ・富山県の取り組みについて
12:30-13:30	昼食・休憩
13:30-16:30	<p><u>演習1:被災者支援コーディネーターの役割とは</u></p> <p><u>演習2:災害のケースを使った演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発災～1か月の被災地のケースから、支援の課題を考える。 ・課題から連携相手を考える
16:30-17:00	<p>まとめ 質疑応答</p> <p>閉会</p>

8. 参加申込・お問合せ ※申込締切:1月27日(火)

お申込みフォーム <https://forms.gle/pCTNjWuCNEyhz6kF8>

特定非営利活動法人まちづくりスポットとやま

担当: 田辺・菅原 E-mail: toyama.info@machispo.org

電話: 076-461-3332(問い合わせ時間: 平日 9:00-17:00)

Fax: 076-461-3359

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)

担当: 神元 (E-mail: kozue-kamimoto@jvoad.jp)



【被災者支援コーディネーター育成事業とは】

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)は、日本のどこで災害がおきても支援の「もれ・むら」をなくし、必要な支援が効果的に届けられるため、行政、社会福祉協議会とNPO等の連携が進み、「被災者支援コーディネーション」の基盤を整備することを目指しています。これまでの災害対応の経験を可視化するため、2022年には、全国の災害中間支援組織の皆さんと共に「被災者支援コーディネーション・ガイドライン」を作成し、被災者支援コーディネーションに関する共通の理解促進に努めています。

災害時に被災者支援コーディネーションが実践されるには、これを担うコーディネーターの育成は不可欠です。「被災者支援コーディネーター育成事業」では、災害中間支援組織の職員やメンバーを主な対象者として、研修を行っています。また、行政や社会福祉協議会、災害支援に関わるNPOの参加も推奨し、被災者支援コーディネーションへの共通理解をもとに災害時の連携が進むことを主な目的としています。

本研修は、Myriad USA の助成を受けて実施しています。